

平成 30 年度

事業報告書

自平成 30 年 4 月 1 日

至平成 31 年 3 月 31 日

公益財団法人横浜市寿町健康福祉交流協会

次の目的及び経営方針に基づき事業を行いました。

目的

労働者の福利厚生を図るとともに地域住民の福祉に関する事業を行い、もって労働者の勤労意欲の向上と地域住民の福祉向上に資することを目的に運営する。

(定款第3条)

経営方針

- 1 施設利用者にとって、安全で衛生的な環境を提供する。
- 2 地区住民のニーズに沿った事業を展開し、福祉・保健・医療などサービスの向上を図る。
- 3 寿地区の地域団体及び行政との連携により、公益法人として、寿地区の健全で明るいまちづくりに貢献する。
- 4 運営経費の適正化を図るなど経営の改革を進める。

I 事業報告

1. 会議

(1) 理事会

第1回理事会 平成30年6月11日 寿町総合労働福祉会館（仮施設）3階会議室

審議事項

第1号議案 平成29年度事業報告

第2号議案 平成29年度決算報告

第3号議案 平成30年度第1回評議員会の日時、場所及び議決事項
報告

ア 横浜市寿町健康福祉交流センター指定管理候補者の選定について

イ 理事長の職務執行の状況報告

第2回理事会 平成30年6月29日 寿町総合労働福祉会館（仮施設）3階会議室

審議事項

第1号議案 理事長の選任について

第3回理事会 平成30年12月17日 寿町総合労働福祉会館（仮施設）3階会議室

審議事項

第1号議案 法人の名称及び定款の変更（案）について

第2号議案 平成30年度第2回評議員会の日時、場所及び目的

第4回理事会 平成31年3月22日 寿町総合労働福祉会館（仮施設）3階会議室

審議事項

第1号議案 2019年度事業計画（案）

第2号議案 2019年度収支予算（案）

第3号議案 資金調達及び設備投資の見込み

第4号議案 規程の一部改正

第5号議案 平成30年度第3回評議員会の日時、場所及び議決事項
報告

ア 理事長の職務執行の状況報告

(2) 評議員会

第1回評議員会 平成30年6月29日 寿町総合労働福祉会館（仮施設）3階会議室

審議事項

第1号議案 評議員の選任及び理事の選任

第2号議案 平成29年度決算報告

報告

- 1 平成 29 年度事業報告
- 2-ア 平成 30 年度第 1 回理事会の決議内容
- 2-イ 横浜市寿町健康福祉交流センター指定管理候補者の選定について

第 2 回評議員会 平成 30 年 12 月 21 日 寿町総合労働福祉会館（仮設施設）3 階会議室
審議事項

第 1 号議案 法人の名称及び定款の変更（案）について

第 3 回評議員会 平成 31 年 3 月 25 日 寿町総合労働福祉会館（仮設施設）3 階会議室
審議事項

第 1 号議案 理事の選任

報告

- 1 平成 30 年度第 4 回理事会の決議内容
 - ア 2019 年度事業計画（案）
 - イ 2019 年度収支予算（案）
 - ウ 資金調達及び設備投資の見込み
 - エ 規程の一部改正
 - オ 平成 30 年度第 3 回評議員会の日時、場所及び議決事項
 - カ 理事長の職務執行の状況報告

（3）経営改善委員会

総合的で効率的かつ効果的な協会の運営並びに経営環境の変化に即応した観点から、的確な経営判断を行うため開催しました。

（寿町勤労者福祉協会経営改善委員会設置要綱第 1 条）

① 開催回数

24 回（月に 1～2 度開催）

② 場所

寿町総合労働福祉会館 3 階会議室

③ 参加者

理事長、管理課長、健康づくり支援コーディネーター、庶務班長、業務班長、医療班長、担当職員

④ 主な内容

- ・ 経営改善の方向性及び協約の具体化
- ・ 事業計画に基づく事業等の推進
- ・ 横浜市寿町健康福祉交流センターでの組織体制について
- ・ 横浜市寿町健康福祉交流センターでの新たな取り組みについて

3. 寿町総合労働福祉会館（仮設施設）の管理運営

設施設概要

| | |
|-------|--|
| 名称 | 寿町総合労働福祉会館(仮設施設) |
| 所在地 | 横浜市中区松影町2丁目8番地の8 |
| 敷地面積 | 約753㎡ |
| 施設規模等 | 複合施設(診療所、福利厚生施設、職業安定所) 鉄骨造り・地上3階建て 建物延べ床面積 1,317.36㎡ |
| 施設内容 | 1階 診療所 2階 デイケア・職業安定所 3階 図書室・多目的ルーム(娯楽室)・事務室 |

(1) 診療所・直営(公益目的事業2)

昭和54年7月、寿地区の日雇労働者及び地域住民の医療福祉対策の一つとして、地域住民の強い要望のもと、県・市・医療機関の協力を得て、医療スタッフを確保し開設。昭和57年4月、週5日(月～金)の診療体制に拡充しました。

主な特徴

- ①受診者の大半が生活保護受給者
- ②横浜市生活自立支援施設「はまかぜ」入所者に対する健康診査の実施
- ③特別診療(※1)の実施
- ④DOTS(※2)の実施
- ⑤医療・福祉相談の実施

※1 特別診療 診療費の本人負担の支払が困難な方に対し一時立替えを行います。

※2 DOTS(直接服薬確認療法) 結核治療・アルコール依存症治療等において、医療監視の下に、看護師等が直接確認しながら、患者の服薬管理を行います。

診療日等

| | |
|---------|------------------------------------|
| 診療日 | 月曜日～金曜日(開所日数239日) |
| 休診日 | 土曜日、日曜日、祝日及び12月29日～1月3日 |
| 診療時間 | 午前9時30分～午後0時30分 午後1時55分～午後6時00分 |
| 診療科目 | 内科、精神科(精神科デイケア含む)、心療内科 |
| デイケア開所日 | 月曜日・水曜日・金曜日の午前10時～午後4時 |
| 延受診者数 | 27,288人(1日平均114人) |

受診者の内訳

| 科目別 | |
|----------|--------|
| 内科 | 14,192 |
| 精神科 | 5,972 |
| デイケア | 1,353 |
| DOTS(※) | 5,771 |
| 合計 | 27,288 |
| ※DOTS 内訳 | |
| 結核 | 1,291 |
| 内科服薬 | 1,062 |
| 精神科服薬 | 3,418 |

| 保険種別 | |
|--------|--------|
| 生活保護 | 24,924 |
| 国保 | 673 |
| 後期高齢 | 171 |
| 日雇 | 0 |
| 健保 | 418 |
| 自費 | 100 |
| 特別診療 | 80 |
| はまかぜ健診 | 492 |
| 健康診査 | 425 |
| 労災 | 5 |
| 合計 | 27,288 |

医療・福祉相談

| 相談内容 | |
|----------------------|---------|
| 受診問題（受診相談、初診面接など） | 2,131 件 |
| 関係機関調整（病名・病状、治療状況など） | 786 件 |
| 生活問題（就労、住居など） | 154 件 |
| 経済問題（医療費、生活費など） | 114 件 |
| その他（はまかぜ健診、福祉制度利用など） | 695 件 |
| 合計 | 3,880 件 |

(2) 福利厚生施設

福利厚生施設の管理・運営を通じ、福祉サービスの提供や、住民の生きがいづくりに寄与する事業を行いました。

① 直営（公益目的事業 1）

| 区 分 | 内 容 |
|-----------------|---|
| 多目的ルーム (娯楽室) | <p>将棋 8 組、囲碁 6 組、40 型液晶テレビ 1 台等を設置して会館利用者の憩いの場として利用に供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開室時間 午前 9 時～午後 8 時（第 1・3 土曜日は午前 9 時～午後 5 時） ・延利用者数 61,850 人（1 日平均 233 人） ・開室日数 266 日 ・休館 第 2・4・5 土曜日、日曜日、祝日及び 12 月 29 日～1 月 3 日 |
| 図 書 室 | <p>各種図書一万数千冊を備え、読書の場として利用に供しました。また図書を保管するスペースの少ない仮設への移転を控え、徐々に古い図書の廃棄を行いました（仮設開始時 10,470 冊）。</p> <p>カウンター横には血圧計、体重計を置き、健康チェックができます。また、飲食コーナーを設け、ポット、電子レンジを常備しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開室時間 午前 9 時～午後 8 時（第 1・3 土曜日は午前 9 時～午後 5 時） ・延利用者数 39,525 人（1 日平均 149 人） ・延貸出冊数 22,968 冊 ・開室日数 266 日 ・休館 第 2・4・5 土曜日、日曜日、祝日及び 12 月 29 日～1 月 3 日 |

② 委託（公益目的事業 1）

| | |
|-------|--|
| 受付案内所 | <p>会館その他関係機関等の案内業務と警備を行いました。 また、急病人に対する救急車の要請を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開所時間 午前 8 時 30 分～午後 8 時 ・開所日数 266 日 |
|-------|--|

③ 委託（収益目的事業 1）

| 区 分 | 内 容 |
|-------|--|
| 自動販売機 | <p>1 階屋外及び 3 階室内に 2 台ずつ設置し、会館利用者の利用に供しました。 図書館にカップ式自販機を新設し、サービス向上を図りました。</p> |

(3) 維持管理（公益目的事業 1・2）

① 工事関係

- ア 仮設会館 2 階排水管詰まり直し工事
- イ レントゲン設備修理

② 各種設備点検整備等関係

- ア 自家用電気工作物保守点検
- イ エックス線漏洩線量測定
- ウ レセプトコンピュータシステム保守点検

③ 建物管理委託関係

- ア 清掃（日常、定期、公衆トイレ、ガラス）
- イ 警備業務（夜間は機械警備）
- ウ 一般廃棄物処理業務
- エ 感染性廃棄物、一般産業廃棄物処理業務

④ その他清掃等関係

- ア 寿地区公衆便所の清掃

4. 横浜市寿生活館の管理運営・指定管理(公益目的事業 3)

昭和 56 年 2 月から、寿生活館(2~4 階)の管理運営を横浜市から受託しました。平成 18 年 7 月 1 日からは指定管理者として当該施設の管理運営を受託し、平成 27 年度からは、第 3 期目(平成 28 年度~令和 2 年度の 5 年間)の指定管理者として業務を行っています。

寿生活館は、住居のない方及び地域住民の福祉の向上を目的に運営され、生活支援を行う他、地域活動や交流の場として多くの方に利用されました。

地元代表、学識経験者、行政等で構成した寿生活館運営委員会を開催し、協議のうえ管理運営を行いました。

(1) 寿生活館運営委員会

第 1 回 平成 30 年 8 月 8 日 寿生活館 2 階 A 会議室

協議事項

- (1) 平成 29 年度事業報告および収支決算報告
- (2) 第三者評価報告書について
- (3) 平成 30 年度事業計画および収支予算について
- (4) 平成 31 年度予算に関する要望事項について
- (5) その他

第 2 回 平成 31 年 2 月 5 日 寿生活館 2 階 A 会議室

協議事項

- (1) 平成 30 年度上半期横浜市寿生活館事業実績報告
 - ①施設利用状況実績報告
 - ②高齢者事業・文化事業実績報告
 - ③第三者評価における課題について
 - ④その他

(2) 事業内容

①施設の管理運営

| 区 分 | 内 容 |
|-------|---|
| 児童ホール | 地区内外の小中学生等児童のため、積み木、跳び箱、マット運動、卓球等の遊びの場を提供しました。 開室時間 午前 9 時~午後 9 時(土・日曜日 午後 5 時まで) 延利用者数 児童 8,384 人 (1 日平均 28 人) 大人 3,566 人 (1 日平均 12 人) 開室日数 295 日 休室 月曜日、祝日及び 12 月 29 日~1 月 3 日 |

| | |
|--------------|--|
| 女性子ども室 | <p>女性及び子ども達の交流を目的に、テレビ鑑賞、読書や会話を楽しむ場の提供をしました。また、おやつやパン作り等にも活用されました。</p> <p>開室時間 午前9時～午後9時（土・日曜日 午後5時まで）</p> <p>延利用者数 児童 8,912人（1日平均 30人） 大人 4,030人（1日平均 14人）</p> <p>開室日数 295日</p> <p>休室 月曜日、祝日及び12月29日～1月3日</p> |
| 児童図書室 | <p>各種図書 1,700冊を備え、読書以外にも工作やゲーム等を楽しむ場として利用されました。</p> <p>開室時間 午前9時～午後9時（土・日曜日 午後5時まで）</p> <p>延利用者数 児童 5,592人（1日平均 19人） 大人 3,404人（1日平均 12人）</p> <p>開室日数 295日</p> <p>休室 月曜日、祝日及び12月29日～1月3日</p> |
| 会議室 | <p>地域の各種団体の打合せ、識字学校や、AA(※)等の利用に供しました。</p> <p>利用時間 午前9時～午後9時（土・日曜日 午後5時まで）</p> <p>延利用者数 591人（1回平均 9人）</p> <p>開室日数 65日</p> <p>休室 月曜日、祝日及び12月29日～1月3日</p> <p>*AA（アルコールクス・アノニマス）とは、アルコール依存症から回復するために助け合う共同体</p> |
| 集会室 (娯楽室) | <p>液晶テレビ1台を設置し、地域住民・施設利用者の憩いの場及び交流の場としての利用に供しました。</p> <p>開室時間 午前9時～午後9時（土・日曜日 午後5時まで）</p> <p>延利用者数 40,797人（1日平均 138人）</p> <p>開室日数 295日</p> <p>休室 月曜日、祝日及び12月29日～1月3日</p> |
| 洗濯場 | <p>全自動洗濯機3台、ガス乾燥機2台を設置し、利用に供しました。</p> <p>開室時間 午前9時～午後9時（土・日曜日 午後5時まで）</p> <p>延利用者数 52,980人（1日平均 180人）</p> <p>開室日数 295日</p> <p>休室 月曜日、祝日及び12月29日～1月3日</p> |
| シャワー室 | <p>ガス湯沸機、シャワー器を2台ずつ設置し利用に供しました。</p> <p>開室時間 午前9時～午後9時（土・日曜日 午後5時まで）</p> <p>延利用者数 52,683人（1日平均 179人）</p> <p>開室日数 295日</p> <p>休室 月曜日、祝日及び12月29日～1月3日</p> |

| | |
|--------------|--|
| 湯沸室 (炊事場) | 流し台1台、調理台1台、ガスコンロ2台を設置し、施設利用者の台所として利用に供しました。 |
| | 開室時間 午前9時～午後9時(土・日曜日 午後5時まで) |
| | 延利用者数 16,283人 (1日平均 55人) |
| | 開室日数 295日 |
| 休室 | 月曜日、祝日及び12月29日～1月3日 |

②利用者交流事業(えがお倶楽部『茶話会』)

27年度に生活館利用者の交流の場としてスタートした「えがお倶楽部」事業の一環として、生活館利用者の茶話会(利用者ミーティング)を始めました。利用者の方々と相談して、好評につき隔月から毎月に増やし実施しました。

茶話会の中では、会館利用上の意見交換のほか、利用者によるギター演奏なども取り入れ、ともすれば殻に閉じこもりがちな方々の交流を進めました。

【平成30年度の主な実績】

毎月の利用者ミーティング(利用者間の話し合い)の他、食事作り、七夕飾り作り、カラオケ、ダーツ等のゲーム大会や保健師による健康講座を実施しました。

③高齢者事業及び文化事業(スマイル事業)

事業実績

| | 延参加人数(人) | 開催数(回) | 平均参加人数(人) |
|------------------------|--------------------------|-----------|-----------|
| 囲碁将棋の日 | 426 | 12 | 36 |
| うたごえクラブ | 255 | 10 | 26 |
| スマイルゴルフ | 282 | 12 | 24 |
| アレンジボウリング | 291 | 12 | 24 |
| 映画クラブ | 638 | 20 | 64 |
| 映画会 | 99 | 2 | 50 |
| ことぶき料理教室 | 114 | 6 | 19 |
| うたごえ大会 | 78 | 2 | 39 |
| バスハイク (三浦半島「いちご狩り」) | 27 | 1 | 27 |
| 茶話会と講座 | 53 | 3 | 18 |
| お花見 | 18 | 1 | 18 |
| ことぶき散歩 | 12 | 1 | 12 |
| 頭脳クラブ | 53 | 4 | 13 |
| (新)書道クラブ | 26 | 2 | 13 |
| ことぶき作品展 | 参観者 2,400 出展作品数 1,149 | 2 計8日間 | 1,200 |
| 合計 | 4,746 | — | |

* 作品展

第1回 平成30年 7月3日～6日 参観者 599人、作品数 581点

第2回 平成30年12月4日～7日 参観者 601人、作品数 568点

ア スマイルカード登録者数 263人（前年度 200人）

平成28年8月から、事業に参加するごとにスタンプを押印する「スマイルカード」の発行を開始しました。貯まったスタンプの数に応じて景品を贈呈するなどの特典もつくり、新規参加者の獲得と継続的な参加を促進しています。

イ 参加者アンケート

実施回数 3回（平成30年度8月、10月、3月間取り及び用紙記入）

有効回答数 149件

(3)維持管理

①工事関係

ア 3・4階電灯分電盤改修工事

イ 3・4階コンセント増設工事

ウ 4階男子便所換気扇交換工事

エ 寿生活館玄関スチールドア修理

オ 乾燥機修理

カ 給湯器修理

キ シャワー修理

②設備点検、清掃等関係

ア 館内清掃業務

イ 簡易専用水道検査

ウ 貯水槽洗浄および水質検査

エ 一般産業廃棄物処理業務

オ 消防用設備保守点検

カ ガス乾燥機保守点検

キ 害虫駆除

ク 乾燥機保守点検

5. 仕事チャレンジアシスト事業・受託（公益目的事業4）

横浜市中区から受託し、中区の生活保護受給者の方を対象に、生活リズム、勤労意欲の維持・向上のため、就労体験や地域貢献事業及び生活・社会面の講義などのプログラムを実施しました。（平成26年5月から開始）

現在は、「仕事チャレンジ講座」（※）受講のための見極めを基本として実施しています。

また、平成29年度からは、引き続き講座受講の見極めとともに、引きこもりの方や心身の調子が悪い方の参加が増え、多面的なサポートも行いました。

※仕事チャレンジ講座

社会福祉法人神奈川県匡済会が中区役所から受託し、実施している事業。自立のために就職や増収を目指している生活保護受給者及び生活困窮者の方を対象に、2か月間のコースで、生活講座、社会講座及び技能習得訓練を行っています。

(1)業務内容

①清掃活動

地区内（道路、公園、施設等）及び地区外（埋地七カ町町内会館の敷地内、文化体育館周辺、山手公園等）の清掃や除草、樹木の選定

②不法投棄

地区内の不法投棄された粗大ごみの収集

③地域の工作物の作製、塗装、修繕等

施設の壁面塗装、施設内備品及び松影公園フェンスの修繕、トイレトペーパー置き台の作製及び塗装等

④地域行事への協力

各種行事の準備設営・片付け、荷物の運搬等

⑤座学

あいさつ・自己表現等のコミュニケーション、運動・食プログラム、ペン字講座（週1回）、教養プログラム（月1回）等

⑥欠席者への支援

引きこもり等の欠席者宅へ訪問するとともに個別相談等の参加者支援を実施

(2)実施日数

事業実施日 月～金曜日の午前

延日数 239日

(3)参加人数

①延べ数 2,482人

②実人数 80人

(4)就労支援実績

| 就労支援後の移行先 | 人数（人） |
|-----------|-------|
| 直接就労 | 7人 |
| 仕事チャレンジ事業 | 13人 |
| 寿ライフ事業 | 2人 |
| 事業所（職業訓練） | 1人 |

6. 寿ライフ事業・受託（公益目的事業 4）

参加者の社会参加、生活改善をきっかけとした就労等へのステップアップを目的とした事業です。

寿地区在住で横浜市中福祉保健センターから保護を受給している方及び生活困窮者を対象とし、寿地区を中心に屋外の清掃、公共施設等の簡単な修繕、放置自転車対策などを行う作業を開拓し、地域とのネットワーク作りを行っていくことで、直ちに一般就労することが難しいと思われる方等が参加、活動する場を提供しました。（平成 28 年 10 月から開始）

「仕事チャレンジ講座」及び「仕事チャレンジアシスト事業」でカバーできない方々（65 歳以上の方、心身の状態で一般就労が難しい方等）も参加できる場を提供しています。

また、平成 29 年度から一部の作業については、公共機関から受託し、参加者に有償ボランティア費として一部を還元しています。

(1) 業務内容

① 清掃活動

関内駅南口・中華街ごみ集積場・元町公園・イタリア庭園・山手ブラフ 111 番館等の清掃及び除草、仮設施設周辺道路の清掃等

② 地域の工作物の作製、塗装、修繕等

靴箱の作製、本棚の作製、寿町内会看板作製、施設内備品の修繕、植栽等

③ 図書室用の図書の貸し出し準備

④ 地域行事への協力

各種行事の準備設営・片付け、荷物の運搬

⑤ 公共機関受託業務（有償ボランティア業務）

ア 寿地区における放置自転車等への警告札貼付等業務

（平成 29 年 6 月から横浜市中区より受託）

イ 桜木町清掃受託業務

（平成 29 年 9 月から横浜市中土木事務所より受託）

⑥ 座学

あいさつ・自己表現等のコミュニケーション、運動・食プログラム、工具・工芸の学習等

(2) 実施日数等

事業実施日 月～金曜日の午前

延日数 239 日

(3) 参加人数

① 延べ数 2,587 人

② 実人数 26 人（内 65 歳以上 16 人）

(4) 就労実績

1 人（倉庫整理）

7. 地域福祉保健推進事業（公益目的事業1）

超高齢化が進み、単身高齢者の方が多く居住する等の地域特性を踏まえ、地区内の誰もが安心して健やかに暮らし、自立が促進され、お互いに支えあい、交流できるまちづくりを目指して、地域福祉保健を推進する各種事業に取り組みました。

(1) 地域福祉保健事業

① 自己啓発教室

参加者が自立し、生きがいを持った生活ができるよう講座を開催しました。30年度は前年度に引き続き「健康づくり」に重点を置き、日常生活の中で継続的に健康づくりに取り組めるよう働きかけました。中区福祉保健センター、Y.S.C.C（横浜スポーツ&カルチャークラブ）、横浜市リハビリテーション事業団等の協力を得て講座を実施しました。

| 日付 | 講座名（共催者等） | 人数 (人) |
|---------|--|-----------|
| 30/4/12 | お口の健康はからだの基本！ (Y.S.C.C.・神奈川海外ボランティア歯科医療団) | 30 |
| 4/16 | 伊藤式健康体操（出張講座） (Y.S.C.C.コーチ) | 24 |
| 5/10 | まず、食べましょう！／食と栄養について (Y.S.C.C.管理栄養士) | 40 |
| 5/24 | ノルディックウォーキングを学ぼう！ (横浜市リハビリテーション事業団体育指導員) | 32 |
| 5/29 | 自分のからだを振り返ろう！ (横浜市中区健康福祉課健康づくり係) | 48 |
| 6/7 | からだに力を蓄えよう！／健康体操 (Y.S.C.C.コーチ) | 33 |
| 7/25 | 美味しいアイスコーヒーの淹れ方を学ぼう！ (フェアコーヒー GLUP株式会社) | 18 |
| 9/27 | ノルディックウォーキングを学ぼう！ (横浜市リハビリテーション事業団体育指導員) | 27 |
| 10/4 | 着こなし講座 (有限会社スタジオニブロール) | 48 |
| 10/11 | お口の健康はからだの基本！ (Y.S.C.C.・神奈川海外ボランティア歯科医療団) | 30 |
| 11/2 | 伊藤式健康体操（出張講座） (Y.S.C.C.コーチ) | 7 |
| 11/8 | まず、食べましょう！／食と栄養について (Y.S.C.C.管理栄養士) | 39 |
| 12/13 | からだに力を蓄えよう！／健康体操 (Y.S.C.C.コーチ) | 32 |
| 31/2/6 | 美味しいコーヒーの淹れ方を学ぼう！ (本牧珈琲) | 24 |
| 3/6 | ウォーキングサッカーを楽しもう！ (Y.S.C.C.コーチ) | 19 |
| 合 計 | | 451 |

【Y. S. C. C. とのコラボ健康づくり講座】

当協会とY. S. C. C. で、寿地区の住民の健康づくりを支援するため、協働でシリーズ「健康講座」を実施することにしました。

計3回で、①栄養、②口腔衛生、③運動をセットで行い、3回全部参加した方を表彰するとともに、Y. S. C. C. から記念品を贈呈しました。

②健康づくり支援コーディネート事業

地域住民が日常生活において無理なく、楽しみながら実践でき、健康づくり・介護予防につながる活動を推進するとともに、その活動を支援する環境づくりを進めていきます。

1) 健康づくり・介護予防の普及啓発

ア 健康教室の実施

- ・実施回数：13回
- ・参加者数：182名

イ 出前講座の実施

- ・実施回数：4回
- ・参加者数：81名

2) 個別健康相談・保健指導の実施

ウ 個別健康相談

- ・相談者数：9名（延べ相談回数25回）

エ 健診結果（中区役所とのコラボ健診）に基づく保健指導

- ・保健指導実施数：70名

3) 健康づくり推進のためのネットワークづくり

地域の関係機関・事業所等の集いの場に参画し、住民・支援者の健康づくりを視点とした取組推進の支援

オ 寿地区障害者作業所等交流会への参画

- ・実施回数：4回（平成30年5月・8月・11月・2月）
- ・参加団体：13団体

カ 簡易宿泊所管理者懇親会への参画

- ・実施回数：4回（平成30年8月・11月・1月・3月）
- ・参加団体：9宿泊所

③寿地区障害者作業所等交流会

地域にある就労継続支援B型事業所及び地域活動支援センター地域作業所が、それぞれ抱えている共通の課題や事業展開などについて意見交換、ネットワークづくり、相互の活動発展に寄与する場として、平成29年2月（平成28年度）から交流会を開始しました。

平成29年度は、廃止となったB型事業所の利用者引き受け、共同受注の推進、見学会の実施、学習会の実施など、内容を発展させ、参加事業所も増加しました。

1) 開催回数

4回（平成30年5月、8月、11月、平成31年2月）

2) 参加団体

13団体

④ 簡易宿泊所管理者懇親会

地区内にある簡易宿泊所の管理者（帳場）同士の交流やそれぞれ抱えている共通の課題や意見交換ができる場の提供として、平成30年8月から開始しました。

1)開催回数

4回（平成30年、8月、11月、平成31年1月、3月）

2)参加者

9名

⑤ 寿地区健康維持活動の場（健康サロン）事業

高齢化率が高く、健康リスクを抱えた方が多い寿地区の高齢者に対して、健康を維持し、社会的に自立した生活を継続できる場の提供として、平成29年4月から「寿健康サロン」を開始しました。（横浜市中区高齢・障害支援課より業務受託）

平成30年4月から協会の独自事業として引き続き実施しています。

1)業務内容

- ①健康サロンの開催
- ②利用者自身での血圧・体重計測の支援
- ③他者との交流促進支援
- ④健康維持に関する情報提供

2)実施日数等

事業実施日 水・金曜日の9時～12時

延日数 96日

3)延べ参加数

1,354人

⑥ 娯楽大会

寿地区住民の交流の場の一つとして、3階多目的ルームで実施。囲碁、将棋、五目並べ大会を開催し、入賞者の表彰を行いました。

3日間（3月4日、11日、18日）延参加者数 65人

⑦ 年末特別対策

年末特別対策として、住居のない方及び簡易宿泊所居住者等のために、横浜市寿生活館を利用に供しました。

期間

12月29日～30日 午前9時～午後8時

12月31日 午前9時～午後12時

3日間延利用者

1,891人（1日平均630人）

(2) 広報事業

① 広報紙『いぶき』の発行

毎月1回(25日前後発行)『いぶき』を通じて、地域住民及び関係機関団体各所に対し当協会の事業及び地域情報を提供しました。

障害者の就労支援事業所等をシリーズで紹介するなど紙面作りを工夫しました。

また、低コストでカラー印刷できる機械リースに切り替えたため、カラー印刷で配布できるようにし、見やすい紙面作りを行いました。

発行部数 年間9,804部(月817部発行)

配布場所 月177ヶ所(寿地区内全簡易宿泊所、公共施設、事業所、店舗他)

② ゆめ会議ニュースの編集

「中区地域福祉保健計画」に基づいて活動している寿地区地域福祉保健計画推進会議「ことぶきゆめ会議」の取組内容を広報するため、『いぶき』に折り込み地域住民等に配布しました。

③ 事業概要『あゆみ』の発行

年1回に『あゆみ』を発行し、27年度の寿町勤労者福祉協会の事業及び寿地区での取組みについて発信しました。『あゆみ』の内容は、当協会のホームページでも公開しています。

④ ホームページの運用

当協会及び寿地区に関する情報等を広く公開しています。

「ことなび」

<http://www.yokohama-kotobuki.or.jp/>

現HP閲覧数 約5万回/年間

(3) 地域連携事業

① ことぶき花いっぱい運動

「ことぶき花いっぱい運動サポーターの会」主催の寿地区内の清掃活動に会員として参加し、主に中村川沿いの道路清掃(亀の橋～車橋間)を実施しました。毎月2回(第2・4金曜日)、早朝30分間程度、各団体等併せて1回平均10人程度参加し、実施しています。

② ラジオ体操

平日(月～金)朝、寿公園で、平均20人程度の住民や関係団体職員等が参加して8時20分から10分間程度ラジオ体操を実施しています。

③ 鯉のぼり

平成30年4月26日、寿地区自治会との共催により、寿公園で実施しました。保育園の園児をはじめ、約200人の住民の方々や支援団体等が協力して鯉のぼりの取り付けを

行い、風に泳ぐ大小の鯉のぼりと記念撮影を行いました。

④七夕祭り

平成 30 年 7 月 4 日、寿地区自治会との共催により寿公園で実施しました。保育園の園児をはじめ、約 200 人の住民の方々や支援団体等が参加して、5 本の太い竹に沢山の短冊をつるして星に願いを託しました。

⑤ことぶき福祉まつり

平成 30 年 11 月 21 日、ことぶきゆめ会議主催による福祉まつりに事務局として参加しました。また、地区内の作業所等 14 団体も参加し自慢の料理で模擬店を出店。会場の寿公園には 300 人以上が集い、名物の巨大太巻き寿司(全長 23.6m)を皆で作って、大盛況でした。

⑥大・豆まき大会

平成 31 年 1 月 30 日、寿地区自治会との共催により寿公園で実施しました。保育園の園児をはじめ、住民の方々や支援団体約 400 人が参加し、1 年の招福を願いました。

⑦平成 30 年度寿大賀詞交歓会

平成 31 年 2 月 7 日、実行委員会主催の賀詞交歓会の事務局を担当しました。地区内の自治会や支援団体、地域にゆかりの深い団体や個人、行政などから約 200 人以上が参加し大盛況でした。ノンアルコールで実施しました。

⑧クリスマス交流会

平成 30 年 12 月 18 日に地区内の保育園 2 ヶ所を Y. S. C. C. の選手、当協会職員等がサンタクロースやトナカイの変装をして訪問し、園児たちは大喜びの 1 日でした。

⑨サッカー教室

平成 30 年 4 月から平成 31 年 3 月にかけて、地区内 2 つの保育園児を対象に Y. S. C. C. コーチと当協会職員でサッカー教室を計 13 回開催し、地域貢献に寄与しました。

(4) 地域協力事業

①ことぶき夏祭り

実行委員会主催による寿夏祭りに協力(8月11日～15日)。寿公園及び寿生活館を会場にして、フリーコンサート、カラオケコンテスト、盆踊りなどを行うほか、街中をこども神輿や山車が練り歩くなど、数日間寿地区は祭り一色となりました。

②みんなの運動会

平成 30 年 11 月 17 日、ことぶきゆめ会議主催による「みんなの運動会」に参加しました。「世代を超えた交流」をスローガンに、寿公園を会場にして、保育園児や学童保育の子どもたち、地域作業所のメンバー、行政など老若男女 150 人が参加し、大いに盛り上がりました。

③防災訓練

平成 30 年 10 月 16 日、寿プラザ地区地域防災拠点運営委員会主催による防災訓練と合同で、寿生活館の防災訓練を同時に実施しました。中消防署の協力のもと、約 100 人が災害に備えて参加しました。火事から身を守る避難方法として煙から逃げる体験訓練の実施や、AED（自動体外除細動器）を使用した心肺蘇生の方法や救命などの指導など行われました。

④ことぶき冬まつり

年末年始、寿生活館及び寿公園をメイン会場として地域の関係団体やボランティアの方々による「ことぶき冬まつり」が行われました。元旦には、餅つき 2,000 食などが簡易宿泊所住民や住居のない方等を対象に配られました。

(5)行政との協働事業

①中区福祉保健センターの無料結核検診とのコラボ健診

中区福祉保健センターが実施する無料結核検診（胸部 X 線検査）に合わせた無料健康診断を実施しました。（平成 30 年 4 月 20 日、11 月 2 日 受診者数 90 人）

②ホームレス相談・支援事業

診療所では「はまかぜ」入所時健診等を行い横浜市のホームレス支援事業に協力しています。

8. 人材育成

当協会職員の専門・実務能力の育成及び人権意識の向上等を目的に職員研修の開催、参加を行いました。

| | 題 | 内容 | 開催日 | 参加職員数 |
|----|--------------------|---------------------------------|--------|-------|
| 1 | これからの寝たきり・認知症予防と対応 | 認知症予防と、寝たきりの方に対する対応について | H30.5 | 5 |
| 2 | 施設管理者を対象とする出前研修 | 施設が老朽化した場合の対応について | H30.5 | 1 |
| 3 | エイズ・H I V診療研修会 | H I V感染症の基礎から、感染症患者の問題点等について | H30.6 | 2 |
| 4 | 糖尿病領域WEB講演会 | 糖尿病早期診療の重要性と、肥満2型患者に対する薬物治療について | H30.6 | 2 |
| 5 | 公益法人会計セミナー | 公益法人会計を学ぶ上で必要な簿記の基礎と、会計の基礎について | H30.8 | 4 |
| 6 | 薬物依存症者についての勉強会 | 薬物依存症者の方の回復への道のり、対応について | H30.8 | 2 |
| 7 | 個人情報の取扱について | 個人情報の基礎から、保護法の改正ポイントについて | H30.9 | 2 |
| 8 | 脳トレリーダー養成講座 | 高齢者の健康維持のための脳トレリーダー養成講座 | H30.9 | 3 |
| 9 | 犯罪被害者等支援に関する研修 | 犯罪被害にあったとき、必要な支援等について | H30.11 | 1 |
| 10 | 院内採用薬の選択基準と適正使用 | 薬剤師が院内で採用する薬品の選択方法について | H30.11 | 2 |
| 11 | 災害時要援護者支援講演会 | 震災等の混乱の中でやるべき優先順位のつけ方について | H30.11 | 1 |
| 12 | 地域の支え合い活動について | 高齢化社会における、医療・介護・地域の重要性について | H30.12 | 1 |

| | | | | |
|-----|----------------------------|----------------------------|--------|----|
| 13 | 医療と地域のネットワークについて | 精神医療の、地域におけるアウトリーチ支援について | H30.12 | 1 |
| 14 | 横浜市指定管理者による事例発表会 | 指定管理施設において、災害が発生した場合の対処、行動 | H30.12 | 1 |
| 15 | 地域社会で生きづらさを抱えている人たちの支援について | 社会になじみにくい方たちの暮らしの課題について | H30.12 | 1 |
| 16 | 人権研修 | 孤独な方々の心の拠り所について | H31.1 | 1 |
| 17 | 地域まちづくり支援制度活用研修 | 地域まちづくり推進条例の支援制度の在り方について | H31.2 | 2 |
| 18 | 新センター運営に向けての施設研修 | 諸室の貸出等運営の方法について | H31.2 | 2 |
| 19 | メンタルヘルス研修 | 心の問題と健康法について | H31.2 | 1 |
| 20 | 患者トラブル対応研修 | 安全な医療のための、患者トラブルの対応について | H31.2 | 2 |
| 21 | 個人情報の取扱について | 個人情報保護法の改正ポイントについて | H31.3 | 16 |
| 合 計 | | | | 53 |

9. 会館再整備事業の進捗と新センターの指定管理者へ

(1) 会館再整備事業の進捗

横浜市による「会館再整備基本計画」は、「会館の現状や地域ニーズについての調査等をもとに、増加している高齢者や障害者のためのバリアフリー化など、再整備後の会館に求められる機能の検討及び設計に際して必要となる事項の整理を行い、(中略)策定」されました。

基本設計・実施設計に続き平成 28 年度から実施されている解体作業に伴い、28 年 3 月末には寿町総合労働福祉会館の機能は仮設会館（松影町 2 丁目 8 番地 8）に移転され、これまで 3 年間の仮設会館運営を行ってきました。

平成 29 年度前半には解体作業が終了し、7 月末から 8 月にかけての水族館劇場公演をはさみ、新築工事が開始され、竣工まで約 1 年半の建築工事となりました。

(2) 新センターの指定管理者へ

当協会では新センターの指定管理者公募に向けて、平成 29 年度中から準備を重ね、4 月に実施された公募に参加し指定管理候補者に指定されました。

そして 10 月に市会において正式決定されました。

Ⅱ 経営の方向性及び協約

横浜市の「特定協約団体マネージメントサイクル」により、平成 27 年度から 30 年度までの 4 年間で期間として「経営の方向性及び協約」を横浜市との協議の上作成し、今後これに基づき経営の更なる向上を図りました。

1 協約の取組概要

寿地区は近年、単身の高齢者、障害者、要介護者等の一層の増加に伴い『福祉ニーズの高い街』となっています。また、多くの住民が、1 室平均 3 畳という住宅事情の中で日々を過ごしており、生活の質の向上が課題となっています。

こうした地域の現状とニーズに対応して、寿町勤労者福祉協会は、住民をはじめ誰もが、自らの健康に留意して、安全で楽しく充実した毎日を過ごすことができ、自立が促進され、お互いに支えあい、交流しやすい開かれたまちづくりを進める事業を展開していきます。また、当協会の取り組みを支える財政運営と組織体制を構築するため、次の取組を行います。

○福祉、医療、介護予防、健康づくりなどの包括的な支援を行う事業や、住民の「生きがいづくり」、「地域コミュニティづくり」にかかわる事業などを、ニーズに合わせて幅広く展開する取組。

○診療事業の拡大や新たな受託事業の確保等により、安定的な財政運営を可能とする取組。

○新たな事業展開を協会職員が一丸となって支え、推進できる組織づくりを行う取組。

2 協約期間の主要目標と実績

(1) 公益的使命の達成に向けた取組

① 診療事業の拡大(地区住民の健康意識の向上のための健康診査事業拡充等)

| 平成 30 年度実績 | 平成 30 年度目標 |
|---------------|---------------|
| 健康診査受診者 425 人 | 健康診査受診者 500 人 |

② それぞれの居場所・出番・絆づくり事業の実施

| 平成 30 年度実績 | 平成 30 年度目標 |
|------------|------------|
| 登録者数 374 人 | 登録者数 150 人 |

(2) 事業の再整理・重点化等に向けた取組

① 会館のあり方について、関係機関・地域で検討し、再整備後の会館に必要な機能等について市に提示する。

| 平成 30 年度実績 | 平成 30 年度目標 |
|----------------------------------|------------|
| 市へ検討結果を新センター指定管理者の応募時に提案し、指定を受けた | 市への検討結果の提示 |

②協会のあり方について検討し、会館整備後の協会の役割を定める。

| 平成 30 年度実績 | 平成 30 年度目標 |
|---|----------------------------|
| より地域ニーズに即した事業を行っていくため、定款を変更し、新センター事業の準備を行った | 新規事業等の検討、実施を通じた、協会の運営方針の検討 |

(3)財務の改善に向けた取組

①診療事業拡大による増収

| 平成 30 年度実績 | 平成 30 年度目標 |
|--|--|
| 138,625 千円 △31,550 千円 (平成 26 年度比較) | 176,819 千円増 6,644 千円増 (平成 26 年度比較) |

②新たな事業開始・増収

| 平成 30 年度実績 | 平成 30 年度目標 |
|-----------------------|--------------------------------------|
| 継続 (引き続き就労支援事業を受託) | 準備 (H27) →実施 (H28) →事業拡大 (H30) |

(4)業務・組織の改革

①運営効率向上のための組織体制のスリム化

| 平成 30 年度実績 | 平成 30 年度目標 |
|---|---|
| 評議員 5 名 理事 5 名 監事 1 名 計 11 名体制 | 評議員・理事減員 理事 1 名減 (H27) 評議員 1 名減 (H29) |

②業務の改善・効率化提案表彰制度の導入

| 平成 30 年度実績 | 平成 30 年度目標 |
|------------|----------------|
| 54 件 | 年間業務改善提案数 40 件 |

③組織運営及び地域ニーズに応えるスタッフ充実のための人材育成（職員研修の充実）

| 平成 30 年度実績 | 平成 30 年度目標 |
|----------------|----------------|
| 内部研修延参加人数 53 人 | 内部研修延参加人数 40 人 |